

図書館には、おはなしの本だけではなく、みんなで楽しく遊べる本もあります。



なぜなぜえほん 1～3のまき

中川李枝子 / さく 山脇百合子 / え 福音館書店

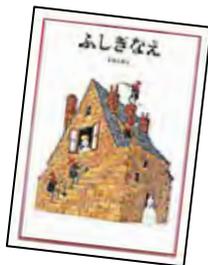
見開き 1 ページで 1 つのなぜなぜが載っていて、左ページの絵がヒントになっています。答えは、次のページの右下にあります。1 冊に 27 個のなぜなぜが入っています。

例えば「ひらくと おはなしが はじまって とじるとおしまい」な～んだ？ こたえは「ほん」、という具合です。気に入ったなぜなぜを、子どもと出し合うのも楽しいですね。



もりのえほん

安野光雅 / 作
福音館書店



同じ作者でほかに

『ふしぎなえ』『旅の絵本』シリーズなどがあります。



やさいのおなか

きうちかつ / 作・絵 福音館書店



同じ作者でほかに

『くだものなんだ』『やさいのせなか』があります。

絵本と楽しくつきあうコツ

すぐに飽きてしまいます

せっかく絵本を読んでいるのに、子どもは飽きてしまって、すぐにウロウロ…。そんなときには、無理して長いおはなしを読まず、遊びの要素がある絵本で楽しむのがおすすめです。絵本の種類はさまざま。ストーリー性のある絵本だけでなく、なぜなぜや絵さがし、ことば遊びなど、やりとりしながら楽しめる絵本もたくさんあります。どのページからでも読めて、短い時間で楽しめる、そんな絵本をきっかけに、本の世界と仲良くなれるといいですね。